



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

2023-2024年度 国際ロータリーテーマ 「世界に希望を生み出そう」 「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」

週報

Vol.66 No.16

令和5年(2023年)

12月6日

2023-2024年度 クラブのスローガン 「**広げよう友の輪、楽しもうロータリー**」

姉妹クラブ: 台湾高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロヴァニエミ・サンタクロース RC ドイツ カールシュタット・アルンシュタイン RC 宮城県多賀市 多賀城 RC

会長: 柳元 尚喜 会長エレクト: 盛澤 篤司 会長ノミニ: 直井 圭介 幹事: 杉原 浩

2023-2024年度 RI会長: ゴードン・マッキナリー

2023-2024年度 RI第2730地区ガバナー: 池ノ上 克(宮崎RC)

市内グループガバナー補佐: A: 瀧川 英憲(鹿児島城西RC) B: 有川 達也(鹿児島RC)

【事務所】
〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10
TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119
E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp
【例会日】 毎週水曜日 12:30~13:30
【例会場】 サンロイヤルホテル

Rotary 【第3081回例会】年次総会

令和5年11月29日 第3080回例会

[点鐘] [ロータリーソング] それでこそロータリー
[四つのテスト唱和] 原井会員

会長の時間

皆様、こんにちは。

本日は2週間ぶりの例会です。前回の例会では長谷川会員の卓話「第一生命の歴史とマッカーサーについて」でした。卓話を思い返しながら、長谷川会員が、パイプをくわえ、マッカーサー元帥の椅子に座り、ロータリーソングをレコードで聞きながらゆったりと指揮棒を振っている姿を勝手に想像してしまいました。それにしても、ロータリーソング「手に手つないで」「それでこそロータリー」の作詞・作曲が、第一生命の創業家の矢野一郎様であったこと、ロータリアン自身による作詞・作曲であったと言うことに、二重の驚きでした。



さて、今月はロータリー財団月間、今週は最後の週になります。本日は、

ポリオについてお話したいと思います。

ポリオ根絶はロータリーの重点課題であり、ロータリー財団に寄せられる寄付のうち、ポリオプラス基金はワクチンやワクチン投与に必要な費用に充てられています。ロータリーのポリオ撲滅に向けての取組みは、1979年にフィリピンの600万人以上の子どもたちのためにポリオワクチンを購入・輸送するプロジェクトから開始されました。その後、1985年にポリオ根絶キャンペーン「ポリオプラス」を開始し、1988年には世界保健機関(WHO)と「世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)」を立ち上げ、世界のポリオ撲滅に向けた取組みを財政的に支えてきました。ロータリーの支援活動が、今日まで大きな成果を上げていることはご承知のところと存じます。

ポリオは18世紀頃からみられ1950年代までしばしば世界各地で流行していました。日本におけるポリオは、1940年代頃から全国各地に流行がみられ、1960年には北海道を中心に5000名以上の患者が発生する大流行となりました。ポリオは脊髄性小児麻痺と呼ばれ、子ども(特に5歳以下)がかかることが多く、回復しても麻痺など後遺症が残る恐ろしい病気です。1955年にワクチンの安全性が確認され、1960年に経口ポリオワクチンがアメリカで認可されて以降、ワクチンの普及とともに、流行は急速に終息に向かいました。私が生まれたのは1970年代ですので、ポリオの悲惨さを実際に目にする機会はなく、正直、ポリオの恐ろしさを知りません。日本ではポリオの根絶が宣言されており、ポリオがニュースとして取り上げられることもほとんど

ありません。私の子どもたちも生後、言われるがまま、ポリオワクチンを接種していますが、あまり深く考えたことはありませんでした。ポリオの恐ろしさを知らない世代やポリオの感染リスクの実感がない人々にとっては、ポリオについて知る機会が少なく、ポリオ根絶が重要なこととして受け取られていないのではないかと思います。私もその一人でした。

少し話はズレますが、皆様、狂犬病はご存じかと思いません。日本では狂犬病の発症はここ数十年確認されていません。狂犬病は感染すると致死率100%の恐ろしい病気ですが、そのリスクを日常で感じることはありません。実は、今年の初め、息子がインドネシアを訪れた際に、観光地で野生の猿に噛みつかれるというトラブルがありました。当初は笑いごととして片づけていたのですが、いろいろ調べてみると、猿から感染する可能性のある病気について、狂犬病をはじめ恐ろしい病気があることが分かりました。そしてインドネシアでは狂犬病は過去の病気ではない事も知りました。狂犬病のリスクの高い地域として注意喚起情報が外務省からも出ています。帰国後、そのまま検疫所で相談し、医療機関を紹介され、ワクチンの接種等でき得る適切な対応をいただきました。幸い傷の程度は軽く、感染のリスクは低いであろうとの事で一応安心しました。日本の衛生環境は極めて良好ですが、世界に目を向ければ日本の常識は通用しないことを理解した出来事でした。この経験は、コロナの世界的な流行の経験と相まって、ポリオの恐ろしさについて考える契機となりました。ポリオに特異的な治療法はなく、感染すれば重篤な後遺症が残ります。ポリオに感染しないことが重要であることが改めて認識できました。

ポリオにはワクチンという有効な手立てがあります。ロータリーのポリオ根絶に向けた取組みを再認識し、子どもたちが直面するポリオの恐怖に対して、できる協力はしていきたいと思った次第です。

会務報告

- ① 鹿児島サザンウインド RC より「WAQ×WAQ SQUARE」のチラシが届きましたのでお配りします。
- ② クリスマス家族会の出欠をお知らせください。また、景品の提供もよろしくお祈りします。
- ③ 新春合同例会の出欠をお知らせください。アレルギーのある方は記入をお願いします。
- ④ 今日お配りしています笹かまぼこは、多賀城 RC よりいただきました。
- ⑤ 鹿児島 RC より創立70周年誌をいただきました。
- ⑥ 2004-2005年度地区ガバナーの三木靖名誉会員(鹿児島城西 RC)が11月17日、86才で永眠されましたこと謹んでお報せいたします。